

新規事業採択時評価結果（平成18年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業の概要

事業名	一般国道155号布袋拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	愛知県
起終点	自：愛知県小牧市入鹿出新田 至：愛知県江南市五明	延長	L = 4.8 km		
<p>事業概要</p> <p>一般国道155号は、常滑市を起点とし、江南市等を経て海部郡弥富町に至る延長約161kmの主要幹線道路であり、名古屋市を中心とした半径約15kmの環状機能を有する路線としての役割を担っている。布袋拡幅は、主要地方道名古屋江南線～国道41号を結ぶ延長約4.8kmの4車線化事業で、名鉄犬山線との平面踏切の除却と4車線化整備を図る延長4.8kmの道路である。</p> <p>事業の目的、必要性</p> <p>布袋拡幅の前後は4車線整備を実施してきており、名鉄犬山線との踏切を形成する当該区間が、円滑な交通の阻害された区間となっている。このため、鉄道との立体交差化とあわせて4車線整備を行い交通の円滑化を図ることで、環状機能としての向上を図る。</p> <p>全体事業費：60億円 計画交通量：32,209台/日</p>					
<p>事業概要図</p> <p>凡例 供用中 事業中 新規事業化 主要渋滞ポイント</p>					

関係する地方公共団体等の意見

布袋拡幅は、円滑な交通の確保と環状機能の向上を果たすことを期待されており、江南市を中心とした布袋地区鉄道高架・街づくり会議から名鉄高架事業に合わせて、当該路線の早期整備の要望（平成15年11月）を県が受けている。

事業採択の前提条件

費用便益：便益が費用を上回っている
 手続きの完了：都市計画決定済み（平成16年8月）

事業評価結果

費用対便益	B/C	4.8	総費用：54億円 （事業費：50億円 維持管理費：4億円）	総便益：258億円 （走行時間短縮便益：243億円 走行費用減少便益：7億円 交通事故減少便益：8億円）	基準年 平成17年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)	
		事業費変動	B/C= (事業費 %)	B/C= (事業費 %)	
		事業期間変動	B/C= (事業期間 %)	B/C= (事業期間 %)	
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策		渋滞交差点を解消する 【渋滞損失時間の改善】約4,875万人時/年 約4,814万人時/年 【1kmあたり（台kmあたり）渋滞損失時間】約18.4万人時/年km（現況） （愛知県平均：約4.9万人時/年km（約3.8倍）） （全国平均：約2.0万人時/年km（約9.2倍）） 【渋滞度曲線】愛知県内センサス区間：308位/1515（全体の76%に含まれる） 【渋滞ポイント】1箇所 0箇所（小郷交差点） 【ボトルネック踏切】現況踏切交通遮断量107,000台時/日（石仏13号）	
	事故対策		踏切除却により鉄道路踏切事故の削減を図る 【死傷事故率】約383.8件/億台和（現況）（死傷事故率比（県内平均比）5.40（現況）） （愛知県平均：約47.1件/億台和（約8.1倍）） （全国平均：約120.0件/億台和（約3.2倍）） 【事故率曲線】愛知県内区間（県管理）の上位26%に含まれる		
	歩行空間	-	-		
	社会全体への影響	住民生活	-	-	
		地域経済	-	-	
		災害		緊急輸送道路（1次）の機能向上 緊急輸送道路に指定されている国道155号の機能強化（2車線→4車線）	
環境		-	-		
地域社会	-	-			
事業実施環境	-	-			

採択の理由

費用便益比が4.8と、便益が費用を上回っていると、都市計画決定手続きが完了していることから、事業採択の前提条件が確認できる。
 また、当該事業箇所の現況渋滞損失時間及び事業実施による渋滞損失削減時間はともに大きく、渋滞対策の必要性・社会全体への効果は高いと判断できる。
 以上より、本事業を採択した。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。